

## すわ幼稚園

### 「ダンスとヨガで体幹強化」

専任講師によるヒップホップダンス(年4回)とキッズヨガ(年3回)を実施し、秋の運動会で発表します。子どもが外で遊べる環境が少なくなり、体力低下が問題となっている今、保護者にも関心が高いダンスとヨガを通して楽しみながら体幹を鍛え、ケガをしない体づくりと同時にリズム感や集中力を養って小学校につなげていきます。

(矢部 あけみ 副園長)



2年間の幼稚園教諭を経て、現在はダンス講師として子どもたちと関わっています。指導していて難しいと感じるのは言葉を理解させること。表現方法を工夫して、例えば「手をあげて」は「空にお絵描きするように」とか。また、子どもたちの集中力を保つため、元気づけてテンションを上げて注目を集めるように心がけています。

今の子どもたちは片足立ちができなかったり体の硬い子が多いので、ダンスで楽しく体を動かしてケガをしない体づくりをお手伝いしていきたいと思えます。

ヒップホップダンス  
講師 三田 菜々子 さん



## みずたに幼稚園

### 「子どもたちの『なぜ』『どうして』を引き出す」

6月21日に開催したサイエンス・マジックショーは、空気の性質や気圧など小学4年生の理科で習う内容でしたが、園児たちに考えながら見てもらい、体験しながら考える力や発想力を身につけさせる狙いがありました。

小中学校でも考える力が発揮されれば、生きる力・生き抜く力になると思います。身近なところで「なぜ」「どうして」と思ったものに対して、

いかに楽しく興味を持つか。サイエンス・マジックショーではそういう機会を子どもたちに与えることができたと思います。小学校の理科は実験や観察が楽しく好きなお子が多いですが、中学生になると法則にあてはめたり理論立てや証明をするために考えなければならぬ嫌いになると言われています。楽しむだけでなく、「なぜ」「どうして」と考えることが大切であり、子どもたちが持っている興味や関心、好奇心を科学を通して育てていく。そうした取り組みをこれからも行っていきたいと考えています。

宮 陽一 園長



園内のフットサルコートでハードルなどの器具を使ってサーキット運動を行う園児たち(きたはら幼稚園)

# 学ぶ楽しむ輝く!! みんなが

— 特色のある幼児教育を実践する幼稚園 —

園子育て支援課 343

## きたはら幼稚園

### 「楽しみながら運動機能を身につける」

毎週3回、全園児が参加して専任の体育講師の指導によるサーキット運動を実施しています。適切な体の使い方や持久力、瞬発力などが楽しみながら自然に身につけていきます。子どもたちが興味を持って楽しく取り組めるよう、年齢や体力に合わせて内容を工夫しています。時間になると子どもたちは目を輝かせてフットサルコートに出ていきます。子どもたちは体を動かすのが大好き。楽しいことも大好き。サーキット運動はこの2つの大好き

きを同時に体験できます。サーキット運動を始めてから子どもたちは集中して物事に取り組むようになり、先生の話をよく聞けるようになりました。これからも当園の施設や環境を活かし、子どもたちが運動を楽しむ土台づくりをしていきたいと考えています。



石川 京子 園長

## 10月から幼児教育・保育の無償化がスタート

10月から、国による幼児教育・保育の無償化が開始されます。おもに3〜5歳の子どもの幼稚園・保育施設などの保育料が無償化されます(送迎や給食などの実費負担分、上限額を超過した分などを除きます。関連記事6ページ)。

子どもの教育費への経済的負担は、少子化の大きな要因となっており、幼児教育・保育の無償化をはじめとした子育て世帯の負担軽減は、重要な少子化対策として期待されています。

また、幼児教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培うものであり、子どもたちの健やかな成長にとって、重要と考えられます。

## 子どもを取り巻く環境と幼児教育の重要性

子どもは、生活や遊びの中で、さまざまな体験を通して、情緒的・知的な発達、そして社会性を養い、社会の中で生活するための基礎を身につけていきます。特に幼児期は知的・感情的な面や人間関係の面でも、日々急速に成長する時期です。この時期

にさまざまな体験をすることは、将来、人とのつながりの中で心豊かに充実した生活を送るために、大変重要と考えられています。

一方、近年の地域コミュニティの希薄化や、核家族化による子育ての孤立など、子どもを取り巻く環境の変化が、子どもの育ちに影響を及ぼしているとの指摘もあり、幼児教育の課題となっています。

幼稚園などの施設では、教育内容のさらなる強化・充実と併せて、家庭や地域社会とともに取り組んでいくことも期待されています。

## 私立幼稚園の特色ある幼児教育を市が支援

市内には私立幼稚園が9園あります(子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園、認定こども園の幼稚園部分、従来どおりの幼稚園があります)。それぞれの私立幼稚園は、近年の子どもを取り巻く環境の変化に対応しながら、子どもたちの健やかな成長を願って、多様な教育活動に取り組んでいます。幼児教育・保育の無償化により、今後は保護者の関心が保育料の助成から、教育内容のさらなる充実に移っていくことも考えられます。





## 市内の幼稚園

各園の事業は、今年度、新たに市の補助金を活用した事業を紹介しています。このほかにも市内の私立幼稚園では、従来から独自性のある教育活動に取り組んでいます。

各園の情報は、市および園のホームページなどをご覧ください。

- 谷津幼稚園 (鶴瀬東2-13-17)  
☎049-251-3468
- 富士見台幼稚園 (鶴馬3513)  
☎049-251-6850
- 銀の鈴幼稚園 (鶴馬3561)  
☎049-251-7546
- きたはら幼稚園 (山室2-5-17)  
☎049-252-3407
- すわ幼稚園 (諏訪2-15-19)  
☎049-251-3856
- ほんごう幼稚園 (水子793-2)  
☎049-253-4467
- 南畑幼稚園 (下南畑3474-1)  
☎049-251-0410
- みずたに幼稚園 (水子5117-3)  
☎049-251-4979
- 富士見みずほ幼稚園 (水子3595)  
☎048-474-1233

市内の幼稚園では、毎年10月ごろから次年度の園児募集をしています。詳しくは各幼稚園へお問い合わせください。

## 南畑幼稚園

### 「幼稚園と地域がつながる～食育～」



子ども用の包丁でじゃがいも切りに挑戦中。このあと、耐熱ガラス鍋にお肉、じゃがいも、にんじん、玉ねぎを入れてカレーを作りました。

子どもを中心に幼稚園と地域がつながることで、お互いに育み合う新しい幼児教育の場を創造する——。南畑幼稚園では地域の特性を活かし、豊かな自然環境の中で農業に従事する方々と触れ合いながら野菜の栽培や収穫を行い、それらの食材を使って園児がカレー作りに挑戦します。また、年末にはもちつき会も予定しています。



佐藤 美津恵 園長

学校教育で食育

が推進されている今、地域の交流を通して食材や調理、食文化などを学ぶことは、子どもたちに食べ物への関心を芽生えさせ、食の大切さを気づかせてくれると思います。

また、事業に協力して下さる地域のさまざまな世代の方の経験や知識を子どもたちに話してもらえる機会にもなります。食を通じて人々が培ってきた文化を子どもたちが継承してくれることを願っています。

さまざまな世代の方々との関わりの中で子どもたちは豊かな生活体験を得ることができます。そして新しい時代を生きる力の基礎がこの生活体験を通して育まれると考え、地域交流の食育事業を実施しています。

## 富士見みずほ幼稚園

### 「バランスキューブで体力や運動能力を伸ばす」



バランスキューブを使って昇降運動をしたり、前後左右にジャンプして飛び越えたり、安全で楽しく運動できます。

毎月1～2回、室内ホールでバランスキューブ(クッションマット)を使用したサーキットトレーニングを行っています。柔らかい素材で組合せのバリエーションも豊富なので、年齢や習熟度にあわせて変化をつけ、どの子どもも飽きることなく取り組んでいます。片足体操や昇降運動、飛び石、平均台、階段遊び、ジャンプ遊びなど、いろいろな運動を楽しく遊びながら継続して行うことで、自然とバランス感覚や持久力、跳躍力などが養われ、さまざまな体の使い方が身につくと大きなケガの防止にもつながります(表紙参照)。



細谷 洋 園長

## 谷津幼稚園

### 「身の回りをきれいに～お掃除で家事力アップ」



保護者も自由参加。パパもママもお掃除の先生となって一緒に取り組みます。

園児が教室や園庭を清掃する「ぴかぴかday」を2週間に1回開催しています。雑巾の絞り方や掃除用具の使い方を学び、子どもたちが自主的に取り組むことで、普段過ごす場所をきれいにしようとする意識や物を大切にしようという心が育ちます。



教諭 萩原 明子 さん

家庭で自らお手伝いをするきっかけにもなります。無理なくできるよう1回あたり30分程度。小学校に向けて身の回りのことを自分でできるよう継続して取り組み、将来的には地域の方々の協力を得て園外の清掃活動にもつながりたいと考えています。

### 『孫育て手帳』をご活用ください

子育てをしているパパ・ママにとっておじいちゃん・おばあちゃんのサポートは大変心強いものです。育児の方法や考え方が大きく様変わりしている現代。祖父母世代の皆さんが、今の子育てについて理解を深めていけるよう作成しました。市ホームページをご覧ください。



### 子育て応援サイト

市ホームページで、さまざまな子育て支援情報を発信中！



上記コードからアクセスしてください。



このような背景から、今後の幼児教育の推進にあたって、各幼稚園がこれまでの教育カリキュラムに加え、独自性のある教育内容に取り組みることが重要です。市では今年度から県内の自治体としては初めて「私立幼稚園特色のある幼児教育推進事業補助金」を創設し、特色のある幼児教育を行う私立幼稚園の取組みを支援しています。

今年度、各幼稚園から事業のアイデアを募集し、「獨創性を高める工夫」「園児の能力を伸ばす」「園児の意欲を引き出す」などを基準に、市および教育委員会の職員などで構成する評価委員会で審査を行うことで、6園の事業に助成を行うこととしました。

助成を受ける事業は、子どもたちの基礎的運動能力や自ら進んで考える力の育成など、近年課題となっているテーマについて、各園が工夫をこらした内容となっているほか、近隣住民や地域とのつながりなど、今後の発展も見据えた事業が提案されました。

これからも園児のためのより良い教育を追求する私立幼稚園の取組みを支援し、各幼稚園の魅力が向上することで、本市の幼児教育のさらなる充実につなげていきます。

